



ご意見・ご感想
お待ちしております

日本共産党
前市会議員

とがし豊

発行・日本共産党京都左京地区委員会 事務所 ☎761-6341 自宅 ☎771-7847 ホームページ・ブログ⇒「とがし豊」で検索

京都市美術館の歴史に汚点

京都市自ら収蔵作品を切断・破壊

市民・作家にとって 大切な収蔵作品

京都市は、八月八日、九日にかけて、芸術家団体・市民の反対を押し切り、京都市美術館前にたっているモニユメント「空にかける階段」88-II「このあと切断される」を切断する工事を強行。同作品は、ひとつらなりの御影石作品としては国内最大級十一メートルの高さを誇り、自然現象を作品に生



鉄骨で囲まれる「空にかける階段」88-II「このあと切断された」。

かしていることでも有名な富樫実氏の代表作です。京都市と作家側との間で、作品の価値を守るため切断せず再展示する方向で協議がなされている最中だっただけに、美術関係者の間に深刻な衝撃・怒りが広がっています。美術館の歴史に重大な汚点をのこす愚挙として、党市議団としても直ちに抗議。連日続いた美術館前での抗議行動に、私も参加し、マイクを握りました。

美術館の名前を売った問題と根は一つ

「京都市美術館」は無数の市民・経済人の志によって建設され、多くの芸術家

等による寄贈によってコレクションを豊かにし、国内外の美術館との信頼関係も築かれてきました。芸術家・利用者・鑑賞者・企業団体・ボランティア・市職員など多くの方の努力の結晶でもあります。ところが、京都市はそうした努力を顧みず、改修費の一部を出すというだけで特定企業に名前さえも売却しようとしています。収蔵作品の扱いにも、そうした姿勢が表れたのではないでしょう。先人が育んだ「京都市美術館」とその収蔵作品を大切にし、未来へ

としつかり引き継ぐ市政へ転換すべく、ご一緒に声をあげましょう。

「岡崎公園と疏水を考える会」抗議の申入れ

「岡崎公園と疏水を考える会」の皆さんとご一緒に二十一日、京都市長に対し、あまりにも京都市の横暴が目立つとして、京都市美術館再整備工事についての緊急の申し入れを行いました。①市民のための展示スペースを削減して、レストラン計画を復活するのは撤回を②本館改修を中心とした京都市の財力に見合った工事に縮小し、ネーミングライツ契約を解除せよ、③市長は美術館再整備の目的から逸脱したモニユメント切断の責任を取るべき、の3点。特に、②に関しては、基本設計コンペに疑問があると指摘しています。

短信：姉妹弟の3人が仲良くご機嫌の時、「テレビ」を披露してくれることがあります。引き戸で隔てた部屋まるごとを「テレビの中」に見立て、引き戸をあけたらスイッチオンで、「テレビ番組」をはじめてくれます。アニメの主題歌の「生演奏」だったり、「ドラマ」だったり。子どもたちの思いつく遊びの斬新さにはいつも驚かされます。

世界遺産下鴨神社と糺の森問題を考える市民の会が京都市に意見書を提出・8月8日



世界遺産を保護する枠組みをもとめ、下鴨神社糺の森の破壊はもうやめてほしい、と。私も同席しました。

頑張る消防団

今年も「送り火」警備に

今年も大文字・送り火警備に登りました。山の上で待機すること2時間、点火の号令とともに大文字の火床から勢いの良く伸びる火柱に圧倒されながら、飛び火を警戒しました。その隙間から見える妙法や船形はなかなか幻想的ですが、西の向こうに見える左大文字や鳥居形も素晴らしい。送り火の眺めを入口に、いろんなところで景観談義が交わされますが、地上での眺めも少しずつでも取り戻したいものです。

